

香川県の地震

令和8年（2026年）8月

香川県の地震活動

震央分布図、断面図	・・・	1
地震概況	・・・	2

南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果

（令和8年（2026年）9月7日）	・・・	3
-------------------	-----	---

地震一口メモ

「地震・津波・火山を知る」ページの更新について	・・・	4
-------------------------	-----	---

この資料の震源リスト・震源要素(緯度、経度、深さ、マグニチュード)は暫定値であり、後日再調査の上修正されることがあります。

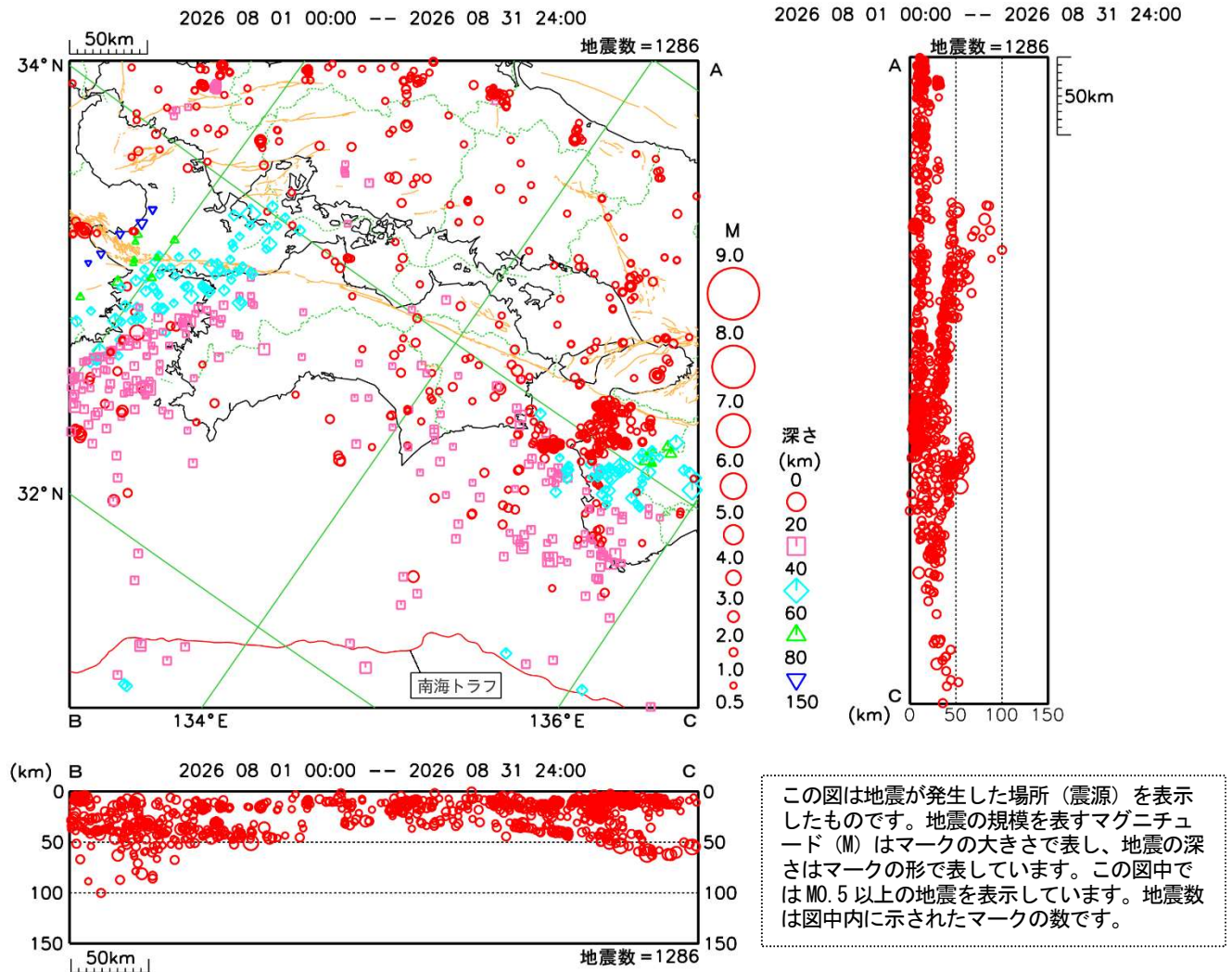
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

高松地方気象台

【香川県の地震活動】

2026 年 8 月

◎震央分布図、断面図



〔左上：震央分布図、右上：A-C を投影面とした断面図、左下：B-C を投影面とした断面図〕

◎地震概況

香川県で震度1以上を観測した地震は、ありませんでした（前月は3回）。

四国で震度1以上を観測した地震は、次の4回でした。

- 1日21時47分 熊本県熊本地方の地震（深さ11km、M4.7：震央分布図地図範囲外）により、愛媛県宇和島市・伊方町、高知県宿毛市・黒潮町で震度1を観測しました。この地震では、熊本県宇城市で震度5弱を観測したほか、中国・九州地方で震度4～1を観測しました。
- 2日04時10分 日向灘の地震（深さ21km、M5.3：震央分布図地図範囲外）により、愛媛県伊方町、高知県宿毛市で震度2を観測したほか、愛媛県、高知県で震度1を観測しました。この地震では、大分県佐伯市、宮崎県延岡市・西都市・高鍋町・川南町・門川町・美郷町・宮崎市・日南市・国富町で震度3を観測したほか、中国・九州地方で震度2～1を観測しました。
- 6日07時59分 熊本県天草・芦北地方の地震（深さ12km、M5.1：震央分布図地図範囲外）により、愛媛県宇和島市で震度1を観測しました。この地震では、長崎県雲仙市、熊本県八代市・宇城市・芦北町・上天草市、鹿児島県長島町で震度4を観測したほか、中国・九州地方で震度3～1を観測しました。
- 12日13時05分 熊本県天草・芦北地方の地震（深さ13km、M5.0：震央分布図地図範囲外）により、高知県宿毛市で震度1を観測しました。この地震では、長崎県諫早市・雲仙市、熊本県八代市・美里町・宇城市・芦北町・上天草市・天草市で震度4を観測したほか、中国・九州地方で震度3～1を観測しました。

【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果】

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を毎月開催しています。

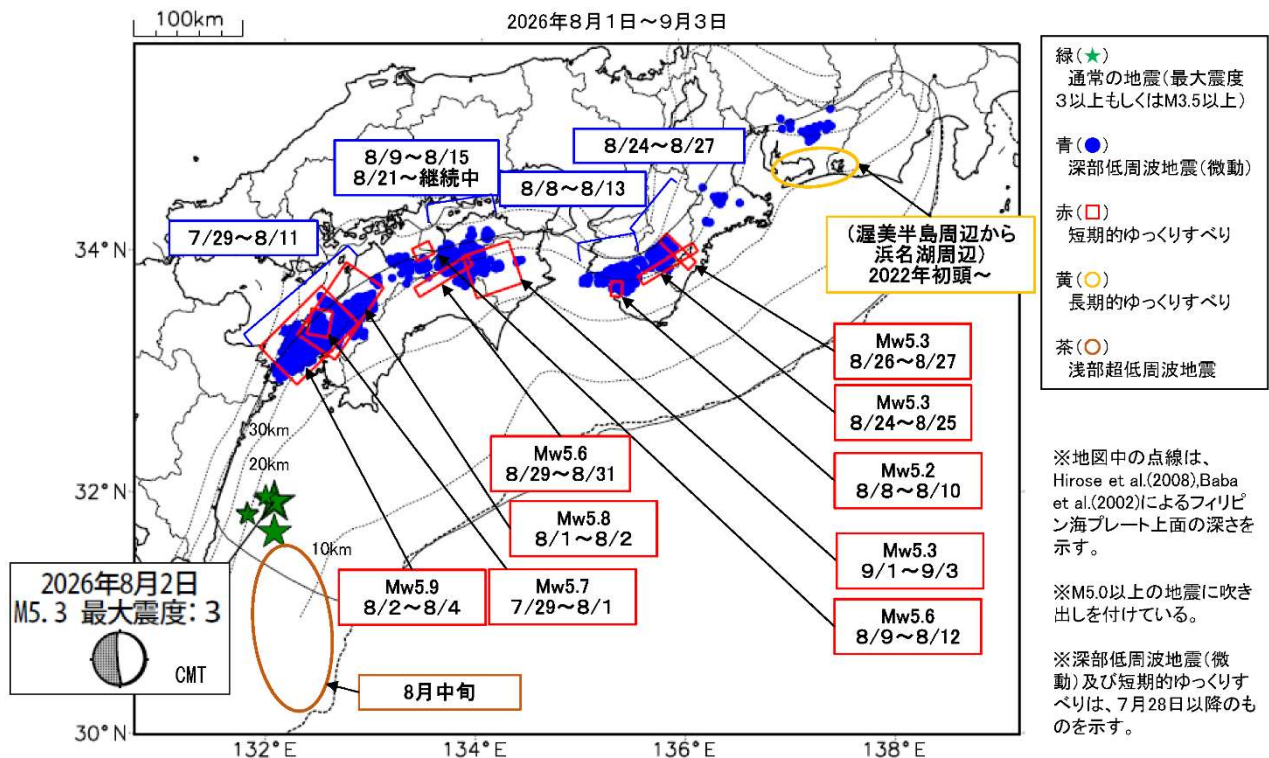
令和8年(2026年)9月7日に公表された評価検討会で評価された調査結果は次のとおりです。

【調査結果（概要）】

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時（注）と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

（注）南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率は高い（詳細は「南海トラフの地震活動の長期評価（第二版一部改訂）」参照）と評価されており、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

【最近の南海トラフ周辺の地殻活動】



通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
短期的ゆっくりすべり.....産業技術総合研究所の解析結果を示す。ただし、9/1～9/3のMw5.3の解析は、気象庁の解析結果を示す。
長期的ゆっくりすべり.....国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。
浅部超低周波地震.....防災科学技術研究所の解析結果を元におおよその場所を表示している。

気象庁作成

上図の深部低周波地震(青●)、短期的ゆっくりすべり(赤□)、長期的ゆっくりすべり(黄○)、浅部超低周波地震(茶○)について、これらの現象は、プレート境界の固着状況の変化を示す現象と考えられることから、気象庁は、関係機関の協力も得ながら注意深く監視しています。

なお、詳細は、次の気象庁報道発表資料をご参照ください。

南海トラフ地震関連解説情報について ー最近の南海トラフ周辺の地殻活動ー

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2609/07b/nt20260907.html>

また、最新の南海トラフ地震に関連する情報は次のページ(URL)をご参照ください。

ホーム>防災情報>南海トラフ地震関連情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>

【地震一口メモ】

「地震・津波・火山を知る」ページの更新について

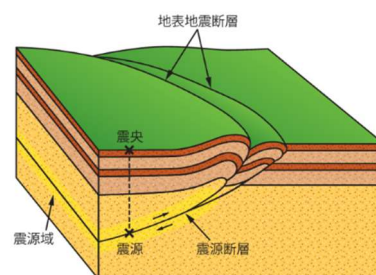
昨年度から、気象庁HPに、地震・津波・火山に関する基礎的な知識を系統的に学ぶことを目的とした「地震・津波・火山を知る」ページを作成し、公開しています。これまで、「1. 地球と大地の動き（1.1 地球の構造、1.2 地球の内部の動き、1.3 プレート境界）」を公開していましたが、新たに、「2. 地震（2.1 地震の発生）」と「4. 火山（4.1 火山の活動）」を追加しました。

今後も、準備でき次第、内容を更新していきます。

追加したページの概要

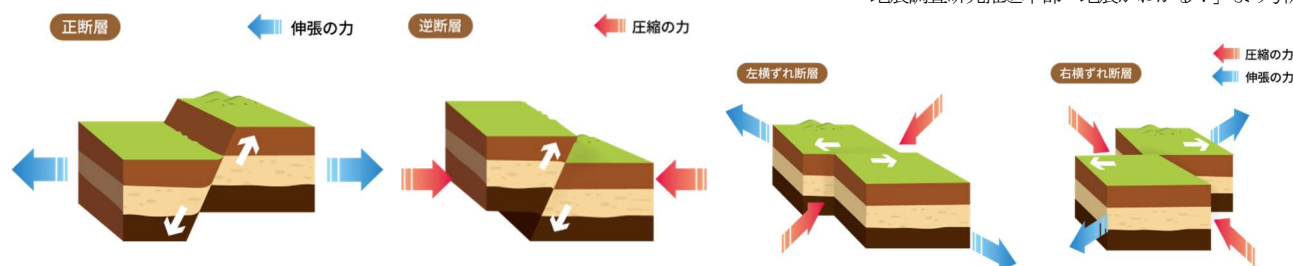
地震の発生

- 地震は、地下の岩盤に力が加わって、急激にずれる現象です。
- この地下の岩盤のずれを「断層」といい、局所的な1点だけではなく面的な広がりを持っています。
- この断層の面的な広がりが大きくなるほど、地震の規模も大きくなります。
- 断層には「正断層」「逆断層」「横ずれ断層」という基本的な3つのタイプがあり、上下方向や水平方向への岩盤のずれ方によって分類されます。



震源、震央、震源域の関係の模式図

地震調査研究推進本部「地震がわかる！」より引用



断層運動のタイプ（正断層、逆断層、横ずれ断層（左横ずれ断層、右横ずれ断層））

火山の活動

- 火山は、地下のマグマが地表へ噴出することなどによりつくられます。
- マグマは、地下の岩石が温度や圧力などの変化によってドロドロに溶けたものです。
- マグマが地表まで上昇すると、火口から溶岩（マグマが液体のまま地表を流れ下る現象を溶岩流といいます）や火山灰、火山ガスなどが噴出します。これらをまとめて火山噴出物といいます。



○火山体および火口やカルデラ、火口湖、溶岩台地などは火山地形といい、これらはかつて火山活動があった証拠です。



気象庁HP 知識・解説

地震・津波・火山を知る：<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/svd/text/index.html>